# 具体的な防音・遮音のヒント

## ピアノの置き場所

音は音源から遠ざかるほど小さく聞こえますし、壁をへだてるほどより減音します。ピアノの置き場所がお隣りに面していると、音は直接伝わりやすくなります。お隣りを基準に考えて音源をなるべく遠ざけるよう心がけましょう。

## マフラーペダルの活用

アップライトピアノの真ん中のペダルは、音量をコントロールするためのマフラーペダルです(一部の機種は除く)。このペダルを使うと、弾き心地が多少変わるかも知れませんが、減音効果としては、耳で聞いた感じでは約半分位になります。

## ピアノ室の工夫

さらに進んだ段階として、ピアノ室を改善する方法があります。その際、外部に漏れる音を遮るだけでは、演奏室として適格とはいえません。部屋に流れる音が聞きやすく明快であることが大切です。ピアノ室には、遮音効果とともに、室内音響効果も望まれるのです。その条件としては、次のようなことがあげられます。

①適切な音響効果が得られること
②特定の音だけが強調されないこと
③外部からの音に悩まされないこと
④外部に音が漏れにくいこと

とはいえ、一般家庭では録音スタジオやコンサートホールのようなわけにはいきません。そこで上記の基本にそって、部屋の吸音や音の反射の状態をコントロールするために、応接セットを置いたり、カーテンをとりつけたり、本棚をいれたりするだけでも音の響きは変化します。

## ピアノ室に防音・遮音の施工を施す場合

ピアノ室に防音・遮音施工を施すうえでは、「重い材料で、隙間なく、二重以上の構造に」が大切な要素です。窓などに隙間があったり、壁や床の材料や構造に弱点がある場合は、それぞれのバランスを考えて処理することが望まれます。

施工は音の漏れやすい、弱い部分から始めるのが基本です。さらに効果を高めるためには、ピアノ室を総合的に検討し、全体施工をする、ということになります。

## ご家庭に、理想的な音楽のためのお部屋を。ヤマハからの提案です。

**サウンドルーム・システム「アビテックス」**

「アビテックス」は、あなたのお部屋を優れた防音効果と快適音場、ホール音響までもそなえた、理想的な音楽の空間に変えるサウンドルーム・システム。一世紀にわたる音づくりのノウハウ、数々のコンサートホールの設計にたずさわってきた経験、さらに最新のLSI技術など、ヤマハの総合力を集めて実現させた、新しい音楽の空間づくりです。

●ヤマハ㈱各支店とピアノシティには、音に関するご相談にお答えする「音の相談室」、「音の相談コーナー」があります。お気軽にお問い合わせください。

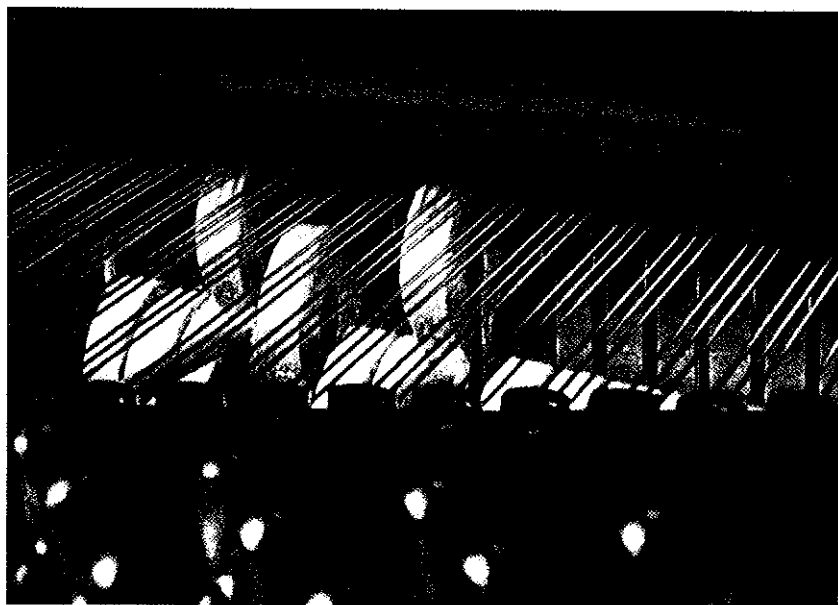
# ヤマハピアノのアフターサービスをご紹介します

お買上げいただいたヤマハピアノを、末長くご愛用いただくために、ヤマハはYCS(ヤマハ・コンサルティング・サービス)と呼ばれる総合的なアフターサービスのシステムを整えています。ヤマハと全国に広がるヤマハ楽器特約店が一体となって、お客様のピアノを見守り、いつでもどこでもピアノを満足をもってご使用いただくために必要とされるサービスをご提供いたします。
その内容は、ピアノに欠かせない調律、レッスンや楽譜・テキスト、防音相談、ピアノの移動など、ピアノに関するあらゆるご相談を承ります。
また、コンサート情報など音楽情報をお届けするコミュニケーション・サービスもYCSのサービス活動のひとつです。
こうしたさまざまなアフターサービスについては、お買上げいただいたヤマハ楽器特約店、ヤマハ直営店、あるいは各地のヤマハ(株)支店まで、お気軽にお申しつけください。

## ブックレットはピアノの重要書類 大切に保管してください

ヤマハピアノにはブックレットが、1台1台についています。このブックレットのカードは、適切なアフターサービスを受けるための、ピアノにとっては重要書類です。

## 保証書について

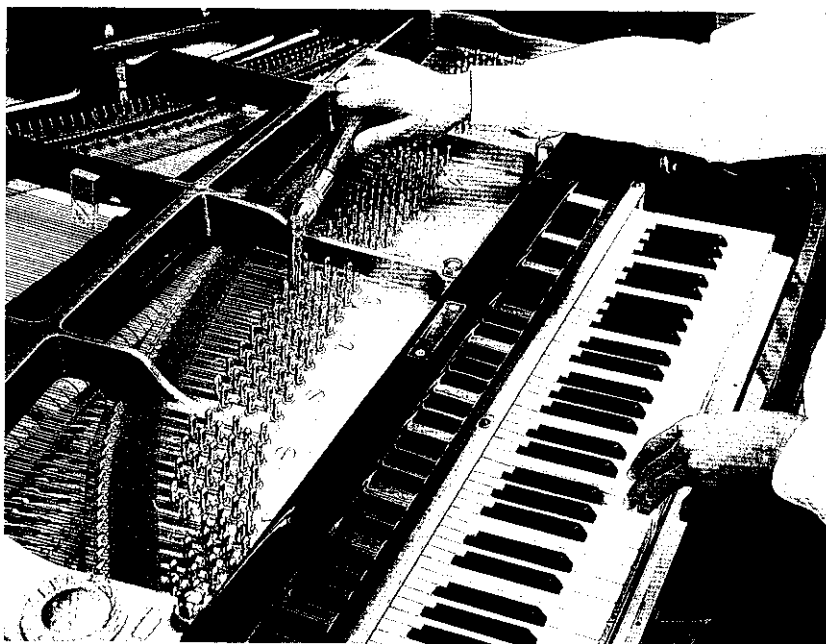
ヤマハピアノには、全機種ブックレットの中に保証書がついています。これは保証期間中に、正常なご使用状態のもとで万一製造上の不都合により故障が発生しました場合、お買上げの販売店が保証規定にもとづいて、責任をもって無償修理をお約束するものです。

## 納入点検調整について

納入後まもなく、お買上げいただいた販売店よりピアノ調律技術者がお納めしたピアノの機能点検ならびに調律・調整にお伺いします。
ピアノは堅牢さと共にデリケートな面を持っています。そのため、ヤマハではピアノをベストの状態でお使いいただくために、この納入点検調整を実施しております。なお、訪問いたしますピアノ調律技術者より、ピアノのメンテナンス(保守・保管)と今後の調律など、アフターサービスについてご案内させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

## ピアノには調律が必要です

バイオリンやギターなど、弦を振動させて音を出す楽器は演奏のたびごとにチューニング(調律)を演奏家が行ないます。正しくチューニングされていない楽器では音階・ハーモニーが狂っていて音楽になりません。
ピアノも弦の振動で音を出す楽器ですから、チューニング(調律)が必要です。しかも、ピアノの弦は他の弦楽器と比べてはるかに強い力(弦1本に約90kg、全体でおよそ20トンの張力)で張られているため、調律をするには専門技術が必要です。この専門技術者は調律技術者あるいは調律師と呼ばれています。
ピアノを良い状態でお使いいただくには調律の他に、ここちよいタッチを得るためのアクションやペダルの調整、美しい音を生むためのハンマーの調整があり、ピアノ本来の性能を引き出すためにたいへん重要です。
このような総合的なピアノの調律・調整を定期的に行なうことにより、使用による消耗や温度・湿度の影響による変化を正しく整えなおすことは、長年良い状態でピアノをご使用いただくために欠かすことができません。

## 定期調律のおすすめ

ピアノを末長く良好な状態でご使用いただくには、1年に1～2回の定期的な調律の実施が有効であり必要です。
この定期調律(有料)は、ピアノ調律技術者が調律必要時期にお伺いし、ご使用者のご要望とそのピアノに最適な技術サービスを実施いたします。
ヤマハとヤマハ特約楽器店では、この定期調律をおすすめし、承っております。納入点検調整の際にも承っておりますので、ぜひお申し込みください。

# 困ったな！故障かな？と思ったら

故障かな？ピアノの状態がちょっとおかしい！というときは、以下の点をチェックしていただき、サービス対応が必要なときは、お買い上げの販売店または巻末のヤマハサービス網にご連絡ください。

| 症状 | 考えられる原因 | チェック・対応 |
|---|---|---|
| **音が出ない**<br>特定の鍵盤の音が出ない。 | ●湿度の影響などで、アクションの動きの回転軸の役割をするフレンジという部品の動き具合がかたくなった。 | ピアノ調律技術者にご依頼ください。<br>（フレンジの回転の動き具合を調整する） |
| | ●部品の折損 | ピアノ調律技術者にご依頼ください。<br>（折損部品の交換） |
| **音が止まらない**<br>高音の音が全部止まらない。 | ●ピアノの最高音部の約2オクターブの音域には音を止める装置（ダンパー）が取り付けられていません。<br>これは元来この音域は音の減衰が早いためです。<br>従って、これは正常な状態です。 | |
| 特定の鍵盤の音が止まらない。 | ●音を止める装置（ダンパー）のフェルトと弦の密着状態の不具合が考えられます。 | ピアノ調律技術者にご依頼ください。<br>（ダンパー調整で止音状態を改善する） |
| **音が変だ**<br>全体に音がこもって、ぼやけた音がする。音量も極端に小さい。 | ●マフラー（弱音装置）が掛かっている。 | グランドピアノでマフラー付きのピアノとアップライトピアノのハンドマフラー付きのものは低音部鍵盤の下側のハンドルを操作し、マフラーを解除してください。<br>通常のアップライトピアノの場合は中央のペダルを操作して、マフラーを解除してください。 |
| **雑音が混じる**<br>特定の鍵盤を弾くと雑音（ビーン、ジーン）が混じる。 | ●共鳴という現象で、ピアノの内部で起こることもありますが、ピアノの音が外部の響きやすいものに共鳴している場合が多い。<br>共鳴の起きやすい品物には、人形ケース・照明器具の傘・カバー・ピアノ周辺の壁などがあります。 | 雑音が出る鍵盤を叩きながら、ピアノの周囲にある共鳴の起きやすい品物を移動させたり、手で押さえたりして確認してください。<br>不明な場合は、ピアノ調律技術者にご依頼ください |
| **鍵盤が戻りづらい** | ●湿度の影響により鍵盤・アクションの調整箇所であるフェルトや木部の微妙な変化により、各部の動きがかたくなったため。 | ピアノ調律技術者にご依頼ください。<br>（フェルトや木部の摩擦具合を調整する） |
| | ●鍵盤の隙間に異物がはさまっている。この場合は2つの鍵盤の動きに影響しています。 | 2つの鍵盤の隙間を名刺などでさらって、異物を下に落とす。<br>そして、調律時に点検をお申しつけください。改善されなければ、ピアノ調律技術者にご依頼ください。 |
| **艶出し塗装の艶がなくなった** | ●黒艶出し塗装、鏡面艶出し塗装の表面は、艶出し剤（ヤマハユニコン）で艶が出ています。この艶出し剤がとれると光沢が落ちます。 | 3ページ『塗装面のお手入れ』をご覧ください。 |
| **塗装面に傷がある** | ●ほこりが表面についたまま、擦ったりいたしますと、すり傷が付くときがあります。 | 恐縮ですが、専門の塗装技術者が修理いたしますのでお申しつけください。修理方法としては、部分的塗装あるいは部品交換をいたします。 |
| | | 鏡面艶出し塗装の軽微なすり傷は、艶出し剤（ヤマハユニコン）で目立たなくなり、傷の予防にもなります。<br>手入れ方法については、塗装仕様をご確認の上、3ページ『塗装面のお手入れ』の要領で手入れしてください。 |

ピアノの手入れ方法 → 3ページをご覧ください。
調律のお申し込みは → 販売店またはヤマハ㈱各支店へご依頼ください。
以上は、ピアノのトラブルの一部をご案内させていただきました。
また、症状が同じでも原因・処置が異なる場合がございます。
その他、ご不明の点・お気付きの点は、販売店またはヤマハ㈱各支店へお問い合わせください。
ピアノプレーヤ（自動演奏装置）につきましては、別添の『ピアノプレーヤ取扱説明書』をご覧ください。

## ヤマハサービス網

ピアノの保守点検等のサービスに関するお問い合せは、お買上げいただきましたヤマハ楽器特約店の他、下記ヤマハ各支店にてお受け致しております。

北海道支店　〒064 札幌市中央区南10条西1丁目 ☎011(512)6114
仙台支店　〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命青葉通りビル ☎022(222)6148
東京支店　〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル ☎03(3572)3145
関東支店　〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル ☎03(3572)3120
名古屋支店　〒460 名古屋市中区錦1-18-28 ☎052(201)5145
大阪支店　〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館 ☎06(252)8731
広島支店　〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 ☎082(244)3748
九州支店　〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 ☎092(472)2152

## 音についてのご相談・お問合せ

上記のヤマハ各支店、および下記のヤマハピアノシティの「音の相談室」
もしくは「音の相談コーナー」では、音に関するご相談・お問合せをお受け致しております。

ヤマハピアノシティ渋谷　〒150 東京都渋谷区宇田川町14-5 渋谷パルコパートIII 7F ☎03(5458)0441
ヤマハピアノシティ梅田　〒530 大阪市北区梅田1-3-1/大阪駅前第一ビル ☎06(345)6551
ヤマハピアノシティ東山　〒464 名古屋市千種区東山通5-65/ヤマハ東山センター ☎052(782)6631

ヤマハ株式会社サービス・ネットワーク

北海道支店
九州支店
仙台支店
広島支店
大阪支店
名古屋支店
東京支店
関東支店

所在地・電話番号など、都合により変更する場合がございますので、ご了承下さい。

**ヤマハ株式会社**
**鍵盤営業本部 ピアノ営業部**
〒104 東京都中央区銀座7-9-18(パールビル)
TEL (03) 5568−2929(代)